

3.11 みんなのきろく みやぎのきろく

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から10年。

原発事故の全容解明も加害責任の所在も、未だあいまいなままです。そのような中、宮城県は2020年11月、熟議を経ることなく、女川原発再稼働への同意を、政府に伝えました。

事故を経験した福島原発では、汚染水処理の問題をはじめ、今後長期にわたる廃炉への道も課題が山積みです。今後も続くと思われる余震のたびに、原発事故が頭をよぎることでしょう。

原発事故の教訓とは、いったいなんだったのでしょうか。

あの経験を、過去のことにしない、他人事にしない、なかったことにしないために。

あの日から、私たちの暮らしと子供たちを守るために、宮城で原発事故に向き合ってきた市民の活動を、1冊の記録集にまとめました。

I. 概要

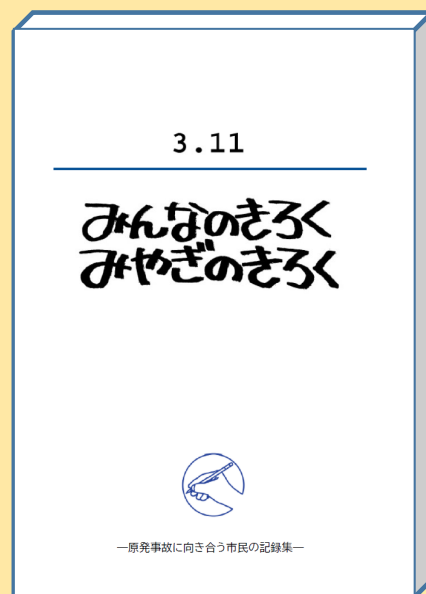
東日本大震災発生時の宮城県の様子と、福島原発事故後の放射能汚染状況について、国や県などが公表してきたデータや資料をもとに、概観しています。

II. 市民の記録

1. 活動編・・・原発事故後に各地で動き出した市民グループの活動の中で、主に自主的な測定活動や行政への要請活動などの記録をまとめています。
2. データ編・・・県内の放射能汚染状況を知るために、市民が自主的に立ち上げた放射線測定室の活動内容と主な測定結果についてまとめています。
3. 健康編・・・原発事故後に市民が取り組んだ被ばく防護に関する活動や、その後の自主的な健康調査活動の概要と現状についてまとめています。

III. 資料

原発事故後、翌年までに各地の市民グループが提出した主な要望書や請願書など、当時の状況がわかる資料を掲載しています。



2020年11月発行
定価 800円



《ご注文・お問い合わせ先：「市民の記録」編集委員会》

- ・電話でのご注文：080-3144-8663
- ・メールでのご注文：miyaginokiroku@gmail.com
- ・<https://www.facebook.com/miyaginokiroku/>

《冊子代・カンパのお振込み先：ゆうちょ銀行口座》

- ・口座記号番号：00120-8-325400
- ・口座名称：「市民の記録」編集委員会

※ご注文後、冊子送付時に払込用紙を同封いたしますので、後日郵便局にてお支払いください。(手数料は窓口203円、ATM152円)

《送料について》

1～2冊	370円
3冊	520円
4冊	600円
5冊以上	無料